

射水市新湊博物館

「奈呉の浦の祈り～海のまつり～」展

開催期間：平成27年7月10日（金）～9月13日（日）



【企画展の内容・目的】

- 射水市を会場として開催された「第35回全国豊かな海づくり大会～富山大会～」に合わせ、地域と海との関わりや豊かな海の魅力について、「伝統行事・歴史・環境」の3つの視点から学ぶことを目的に実施しました。
- 海を畏れ、海に感謝してきた人々によって今なお伝えられる「海のまつり」を中心に、海と人々との関わりを紹介することで、地域と海との関係性を再発見する機会としました。
- 小学校への出前講座や「海のまつり」解説会等の関連事業を行う事により、慣れ親しんだ地域の環境や伝統行事が、古くから海と深い関わりを持っていることを学ぶ機会としました。

1. 企画展示の内容

- 開催期間：平成27年7月10日（金）～平成27年9月13日（日）
- 開催場所：射水市新湊博物館 企画展示室
- 入場者数：1,176人



射水市新湊博物館 外観



企画展会場 入口



伝統行事コーナーでは、「放生津八幡宮の築山行事」（富山県指定無形民俗文化財）の実物を始めとした、射水市内の様々な「海のまつり」関連の資料を特別公開することによって、海と共に生きてきた人々が海を畏れ、海の恵みに感謝してきた祈りのかたちを紹介すると共に、地域と海との深い関係性を今と未来に伝える機会としました。



歴史コーナーでは、漁師を指す古語を地名としていた漁村が海の生命を尊重する仏教行事「放生会」ゆかりの地名に改められ、日本海海運の拠点となる港湾都市へと成長していった歴史を紹介すると共に、海の生命に感謝するために行われる「放生会」が今なお伝えられていることを紹介することによって、海の恵みへの感謝の念を捧げてきた先人の思いと歴史を学ぶ場としました。



環境コーナーでは、放生津湊の東に位置した旧放生津潟の変遷を、江戸時代の絵図や古記録・古写真によって紹介すると共に、潟周辺に生息する魚類・貝類に関する標本や絵画の展示を行い、海とその周辺の水辺が昔から多くの生命を育む場であったことを知る機会としました。

【来館者の声】

- 海から現れた神仏について、もっと知りたい！
- 豊かな海の恵みを受けて暮らしてきた人々に感謝し、またこのような企画展をしてほしいです。
- なかなか、見る事ができない築山、すばらしかった。
- 地元だが知らないことが多く、改めて知ることができよかった。

2. 関連事業の内容

■市内小学校等への出張講演

【開催日時】平成27年6月16日～11月7日（計11回）

【開催場所】射水市立小杉小学校ほか10団体

【参加者数】621名

【実施内容・目的】

- 射水市内で行われる「第35回全国豊かな海づくり大会富山大会」の開催に合わせ、射水市ならではの「海のまつり」について、小学校向け授業や地域の会合等において紹介することにより、自分たちの暮らす地域の歴史や文化が海によって育まれたことや、海からの恩恵を学ぶ機会として実施しました。



市内小学校では6月から9月にかけて8校で実施し、企画展で紹介した地域ならではの様々な「海のまつり」に触れ、いずれも海への畏敬の念から生まれたことを紹介すると共に、各地域と海にまつわる昔話や逸話を分かり易く紹介し、海と密接に結びついた地域の歴史への理解を促しました。



市内各種団体を対象に、企画展で紹介した射水市内の指定無形民俗文化財4件について、その現状や歴史、信仰の姿を、近年の研究成果や新発見の史料紹介及び写真等を提示しながら紹介しました。4件に共通して、海への畏敬の念及び海がもたらす恩恵への感謝の祈りの心が存在することを紹介し、海が射水市の特徴ある伝統文化のゆりかごの役割を果たしてきたことを理解いただける機会としました。

【参加者の声】

- 海の祭りがあったのは知らなかったのもっと知りたくなりました。
- 海を大切にしようという気持ちを持った。
- 写真があり、分かりやすかった。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

■「放生津八幡宮の築山行事」現地解説会

【開催日時】平成27年10月2日（金） 13:00～13:30

【開催場所】放生津八幡宮（射水市八幡町2丁目2番27号）

【参加者数】100名

【目標・内容】

- 1年に1度、海から祖霊を招き祀ることが特徴とされる「放生津八幡宮の築山行事」（富山県指定無形民俗文化財）を実際に現地で見学解説することによって、幸いをもたらす海への畏敬の念を抱いた先人たちの信仰を参加者が深く理解することを目指しました。



企画展で特別公開した「放生津八幡宮祭の築山行事」が年に一度実際に行われる日に合わせ、射水市立八幡保育園園児19名を含む100名を対象とした現地解説会を行い、海が神仏の出現する場として大事にされていた歴史や行事の変遷、意義などについて、実際に行われる地域の祭りの様子を詳しく紹介することによって、今なお残る地域ならではの「海のまつり」から地域と海との繋がりや人々の思いなどを学ぶ機会としました。

【参加者の声】

- 先祖の靈魂が海からやってくること、放生会など海を中心とした祭りがあることから海との結びつきが分かった。
- 身近にありながら知らない事を知ることができた。
- 今後とも築山行事に関する紹介をよろしくお願いします。

■記念講演会の開催

【開催日時】平成27年8月22日（土）

【開催場所】射水市新湊博物館 企画展示室

【参加者数】70名

【目標・内容】

- 「放生津八幡宮の築山・曳山」と題した記念講演会、講演会前後の展示解説会や映像紹介を通じて「海のまつり」を紹介することにより、地域と海との深い関係性や海への感謝の念を再発見して頂く事を目標として実施しました。



放生津八幡宮文化財保存会代表である大伴泰史氏（放生津八幡宮宮司）を講師にお招きし、「放生津八幡宮の築山・曳山」と題して講演いただきました。

今回は企画展示室内に特別展示した築山を前に臨場感ある講演をいただくこととし、また講演前後に映像作品を放映や展示解説を行い、聴講者の理解促進を図りました。

伝来の古文書や口伝の紹介を通じて、海に面して鎮座している放生津八幡宮の由緒、海神である八幡宮に対する信仰の姿としての祭礼を解説頂き、住民の八幡信仰と海の恵みへの感謝の念は一体のものであり、海が地域において重要な位置づけであることを再認識する機会となりました。

【参加者の声】

- 講師の話聞き、この地が古来から海・川・潟を結ぶ交通の重要な拠点であったことを学ぶことができた。
- 海を中心とした催事を企画してほしい。
- 放生津潟と富山湾海岸線の変遷が分かるように説明してほしい

【事業全体のまとめ】

今回の支援を受けたことで、市内の海にまつわる指定文化財のうち、年に一日、門外不出とされていた「放生津八幡宮の築山行事」の実物を展示することができ、また合わせて関係映像の作成および市内小学生に対する関係講演を実施することができた。これらの展示・事業を通じて、富山湾に面した射水市の歴史と、海に感謝の念を捧げてきた先人たちの思いを分かりやすく伝える絶好の契機となった。アンケート等を見ると、今後も海の魅力や恩恵について触れた企画展・特別展の開催を求める声が多くあった。今後も機会をとらえてこうした海に対する深い理解を促す展示を継続して企画したい。

3. 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
第35回全国豊かな海づくり大会 射水市推進協議会	出張講演の共同実施
第35回全国豊かな海づくり大会 富山県実行委員会	同大会（10月24・25日）企画展刊行物の会場配布及び大会 行事に対する当館学芸員講師招へい
放生津八幡宮文化財保存会	築山行事現地解説会への協力

4. 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 「日本海事新聞」	「船の科学館 海洋教育の実践支援」平成27年7月1日
2. 「博物館研究」7月号	「放生津八幡宮の築山行事」平成27年7月1日
3. 「北日本新聞」	「江戸時代の“大事件詳報”」平成27年7月4日
4. 「北日本新聞」	「築山行事を再現」平成27年7月9日
5. 「北日本新聞」	「沿岸部の祭り歴史を紹介」平成27年7月11日
6. 「富山新聞」	「築山行事の祭壇再現」平成27年7月14日
7. 「北陸中日新聞」	「港町 漁師の祭り紹介」平成27年7月15日
8. 「Takt」189号	「ぶらり街めぐり 射水市新湊博物館」平成27年8月10日
9. 「北日本新聞」	「観光案内より詳しく」平成27年8月21日
10. 「北日本新聞」	「企画展に合わせきょう記念講演会」平成27年8月22日
11. 「富山新聞」	「築山行事 由緒学ぶ」平成27年8月23日
12. 「TJとやま」9月号	「奈呉の浦の祈り」平成27年8月25日
13. 「北日本新聞」	「新湊曳山祭り」平成27年9月30日
14. 「富山新聞」	「新湊曳山祭り」平成27年9月30日
15. 「北日本新聞」	「境内に神仏習合の祭壇」平成27年10月3日
16. 「北陸中日新聞」	「先祖の霊祭る築山」平成27年10月3日
17. 「富山新聞」	「築山に豊穰 安全祈願」平成27年10月3日

以上